



## DB2 for i アダプタ ご紹介

# 目次

---

- 製品概要
- 製品構成と連携イメージ
- 各種処理の設定
  - テーブル読み取り
  - 検索系SQL実行
  - テーブル書き込み
  - 更新系SQL実行
- 適用パターン

## 製品概要

## DB2 for i アダプタとは

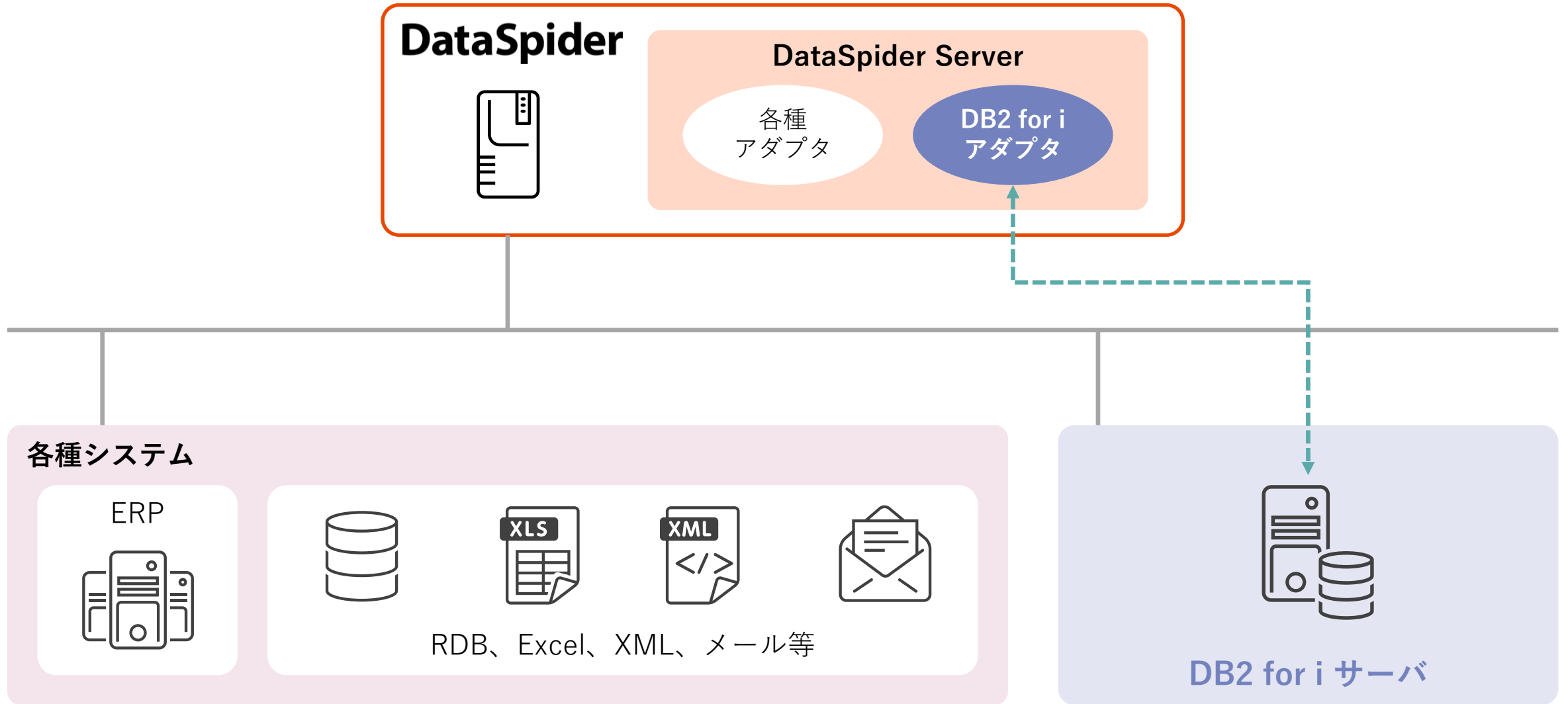
DB2 for i(AS/400、IBM i)上のDB2を読み書きすることができるアダプタです。

### 主な特徴

- ・ DB2ファイルへのアクセスもRDB系アダプタと同様の操作で読み書き可能
- ・ ジャーナル処理が起動していない場合も利用可能  
(ジャーナルが起動していない場合はロールバックはできません)

## 製品構成と連携イメージ

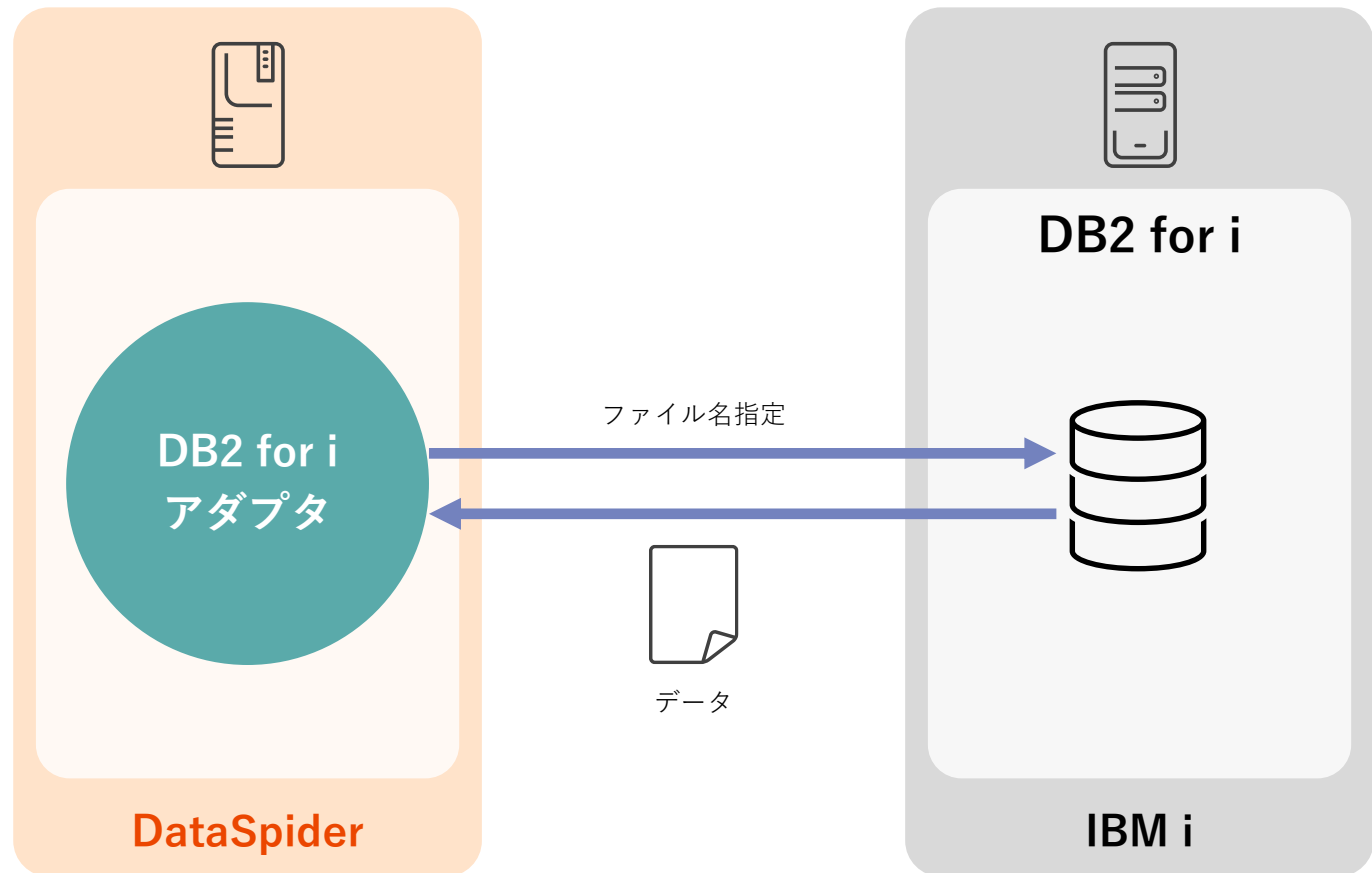
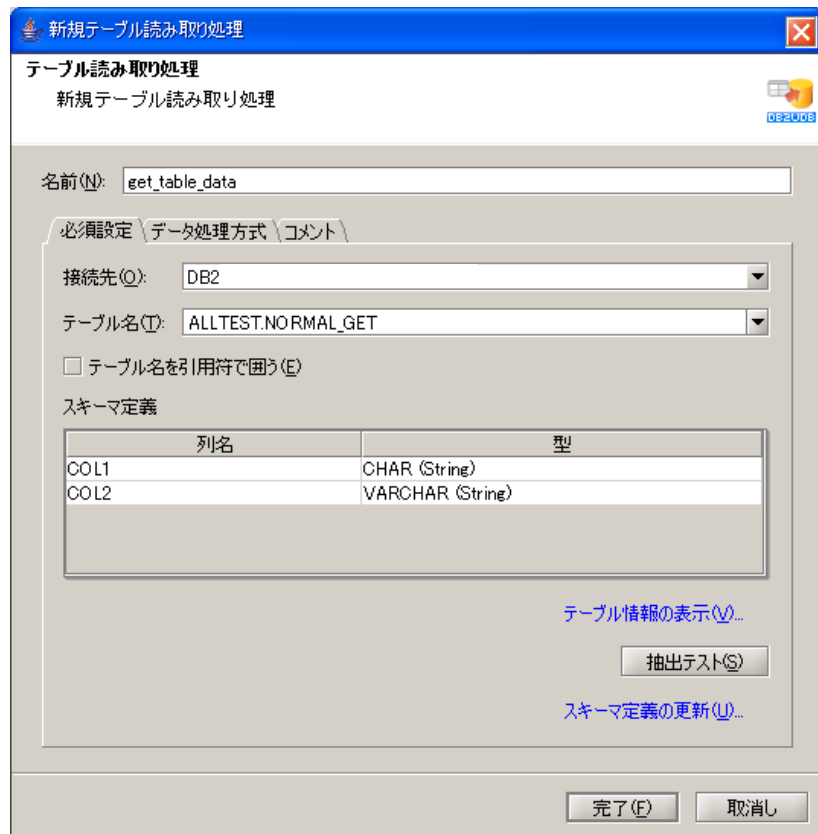
# DB2 for i アダプタ製品構成と連携イメージ



## 各種処理の設定

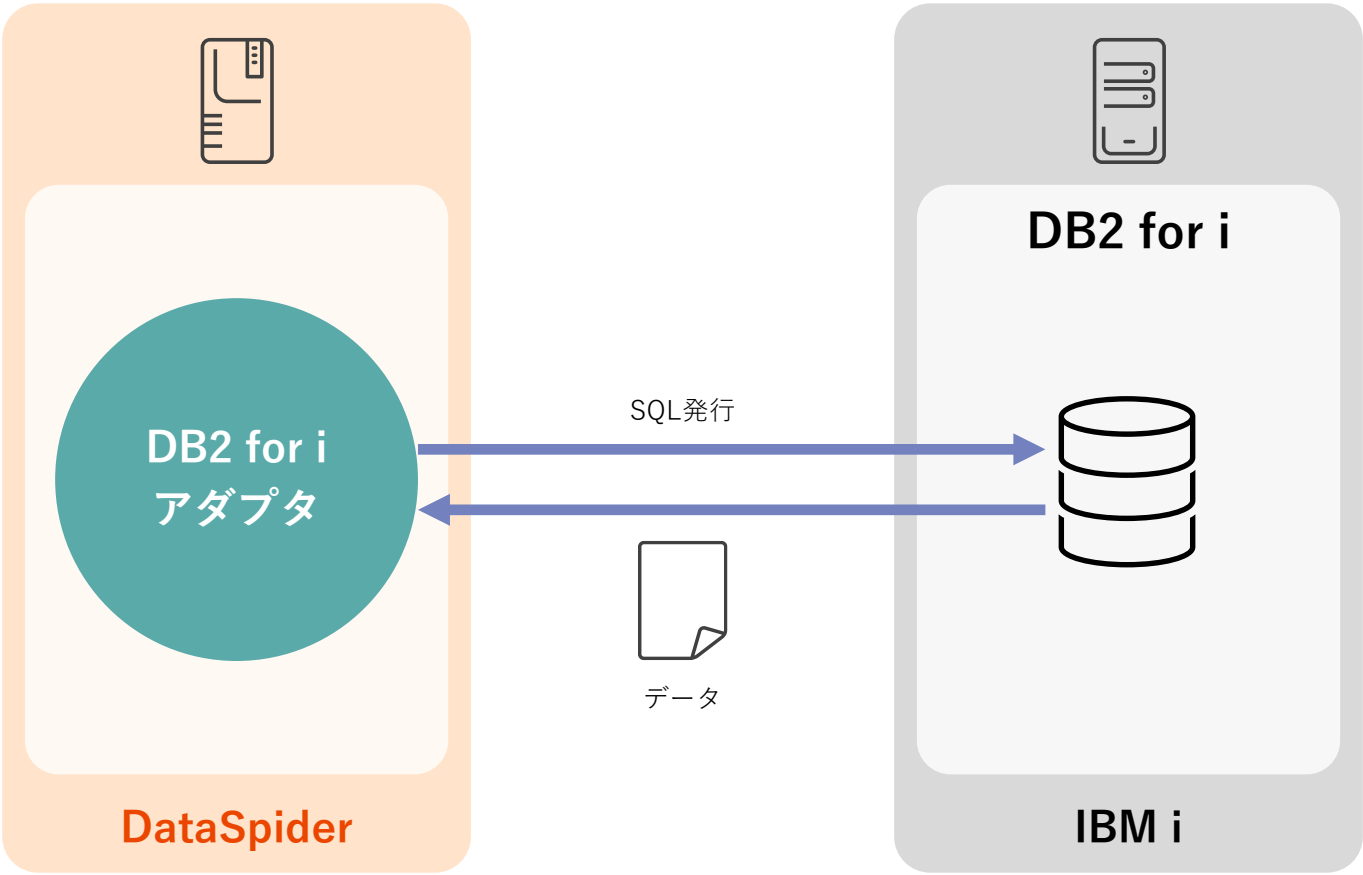
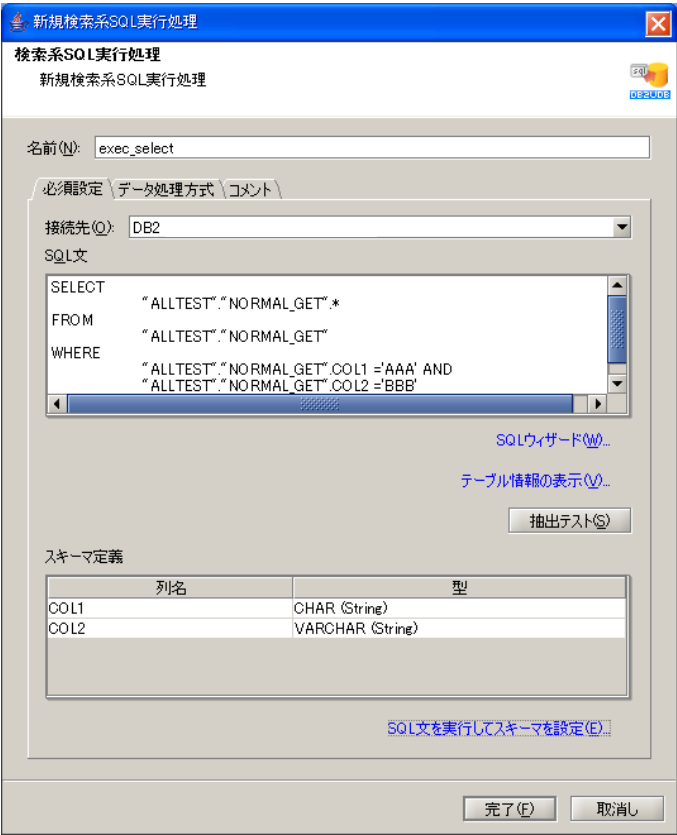
# テーブル読み取り

DB2 for iのDB2テーブルからデータを読み取ります。



# 検索系SQL実行

SQL文を用いてデータを読み取ります。



# テーブル書き込み

入力データをテーブルに書き込みます。

新規テーブル書き込み処理

テーブル書き込み処理  
新規テーブル書き込み処理

名前(N): put\_table\_data

入力データ(D): mapping

必須設定 コメント

接続先(Q): DB2

テーブル名(T): ALLTEST.NORMAL\_GET

☐ テーブル名を引用符で囲う(E)

☐ キーの値と一致する行は更新(S)

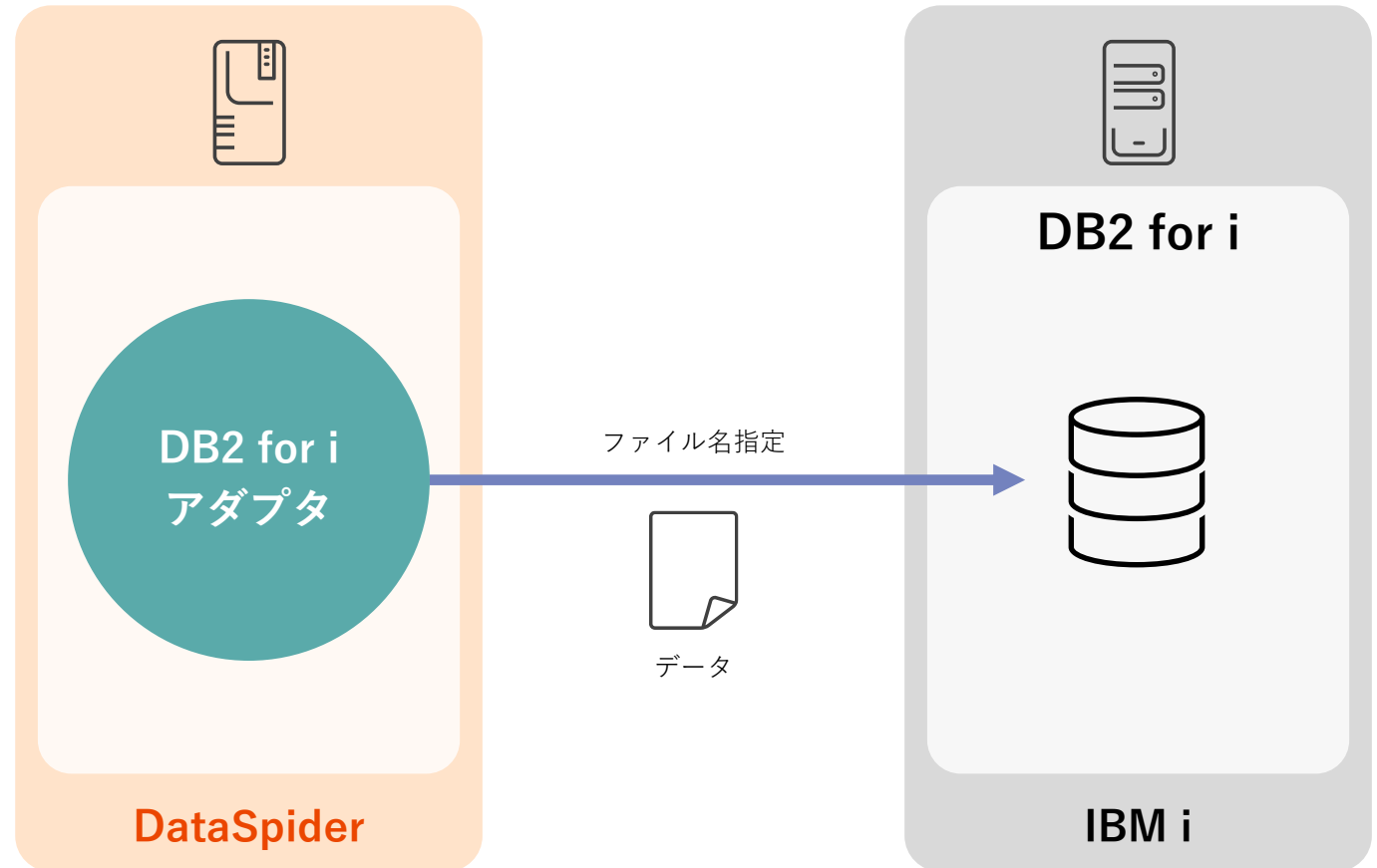
スキーマ定義

| キー                       | 列名   | 型                |
|--------------------------|------|------------------|
| <input type="checkbox"/> | COL1 | CHAR (String)    |
| <input type="checkbox"/> | COL2 | VARCHAR (String) |

テーブル情報の表示(U)...

スキーマ定義の更新(U)...

完了(F) 取消し



アダプタ側でロールバック処理を実行する場合ジャーナル処理が起動している必要があります。  
ロールバック不要の場合、グローバルリソースで「自動コミットを行う」のチェックを入れてください。

# 更新系SQL実行

SQL文を用いてデータを書き込みます。

新規更新系SQL実行処理

更新系SQL実行処理  
新規更新系SQL実行処理

名前(N): exec\_update

入力データ(I): mapping

必須設定 コメント

接続先(Q): DB2

SQL文

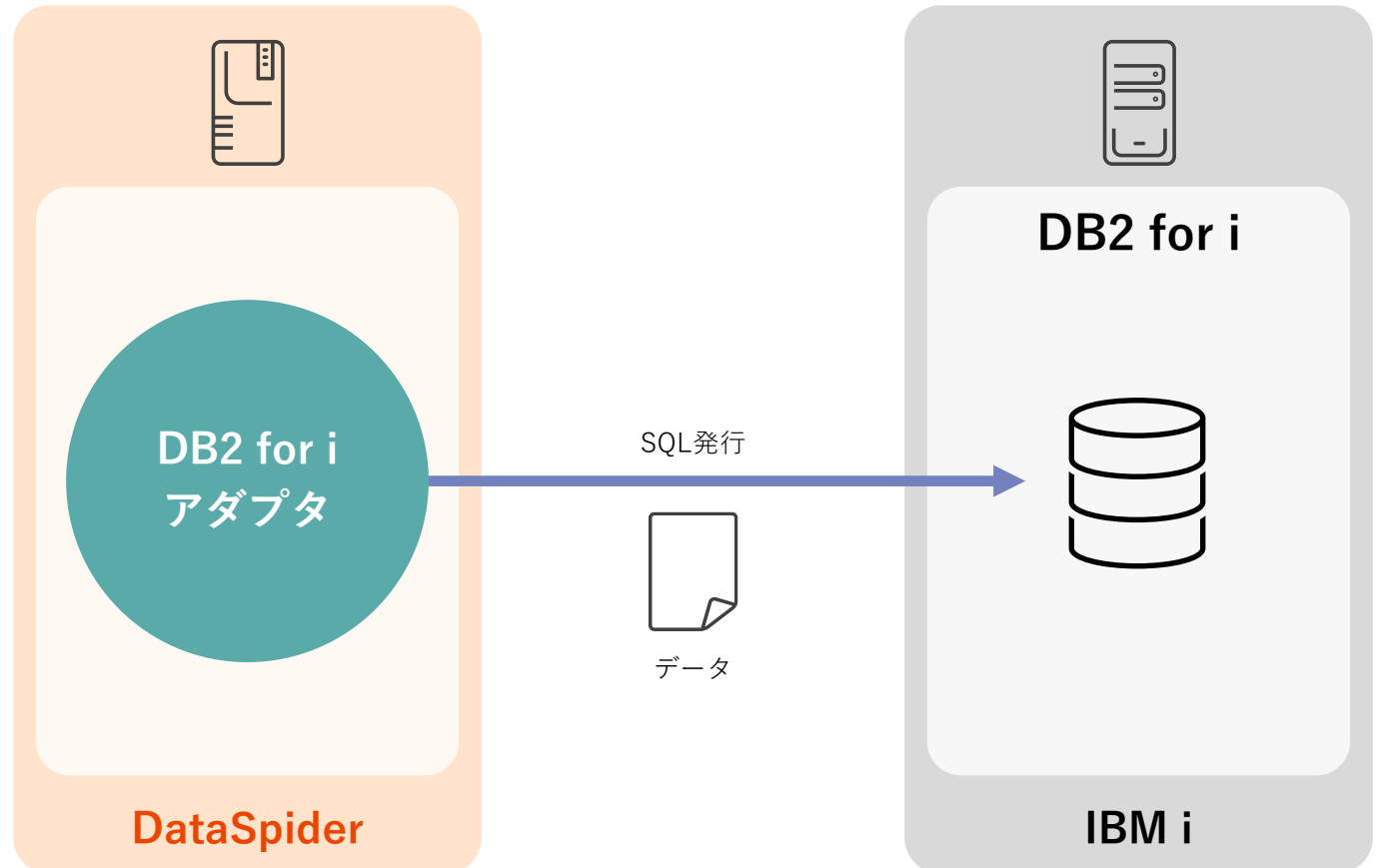
```
UPDATE "ALLTEST"."NORMAL_GET"  
SET  
    COL2 = 'CCC'  
WHERE  
    "ALLTEST"."NORMAL_GET".COL1 = 'AAA'
```

SQLウィザード(W)...  
テーブル情報の表示(Y)...

スキーマ定義

| 列名 | 型 |
|----|---|
|----|---|

完了(F) 取消し

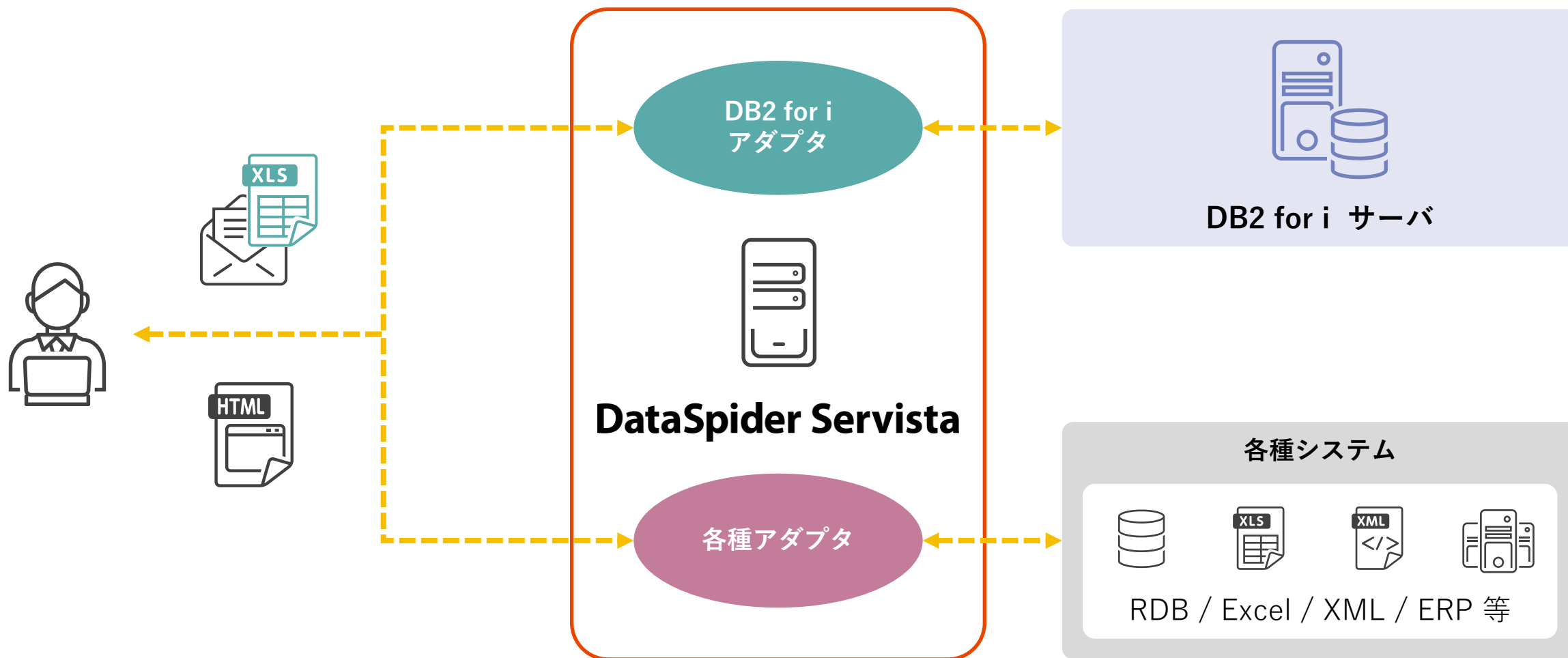


アダプタ側でロールバック処理を実行する場合ジャーナル処理が起動している必要があります。  
ロールバック不要の場合、グローバルリソースで「自動コミットを行う」のチェックを入れてください。

## 適用パターン

## 適用パターン：基幹系DBのデータの有効活用

社内各種データとの連携や参照データの自動生成に





< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。